

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	通学路等の生活空間における安全・安心の確保																
計画の期間	平成28年度～平成32年度(5年間)				交付対象	山形市											
計画の目標	指定通学路を拡幅することで、子供達が安全で安心してとおれる歩行空間を確保する。																
計画の成果目標(定量的指標)	DID地区の都市計画道路における指定通学路の歩道整備率を向上させる。																
定量的指標の定義及び算定式	$\text{DID地区の都市計画道路における指定通学路の歩道整備率}(\%) = \frac{\text{DID地区の都市計画道路における指定通学路の歩道整備率}}{\text{DID地区の都市計画道路における指定通学路延長}}$																
全体事業費	合計(A+B+C+D)	5,437百万円	A	5,437百万円	B	百万円	C	百万円	その他関連する事業(D)	百万円	備考						
事後評価(中間評価)																	
○事後評価(中間評価)の実施体制、実施時期																	
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期											
道路管理者、警察、交通安全担当(市民課・教育委員会)による山形市通学路交通安全プログラムによる通学路安全点検。						整備計画期間の翌年度(平成29年に山形県社会資本総合整備計画に移行により平成30年度に実施)											
						公表の方法											
						ホームページによる公表											
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A1 期間事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H28	H29	H30	H31	H32		
A1	街路	一般	山形市	直接	山形市	市町村道	(都)十日町双葉町線ほか2路線	通学路対策 L=789m	山形市						79		
A2	街路	一般	山形市	直接	山形市	市町村道	(都)東原村木沢線ほか1路線	通学路対策 L=473m	山形市						124		
A3	街路	一般	山形市	直接	山形市	市町村道	(都)四日町日月山線ほか2路線	通学路対策 L=339m	山形市						2,646		
A4	街路	一般	山形市	直接	山形市	市町村道	(都)諏訪町七日町線(大龍寺工区)	通学路対策 L=125m	山形市						750		
A5	街路	一般	山形市	直接	山形市	市町村道	(都)十日町双葉線ほか1路線(十日町工区)	通学路対策 L=278m	山形市						1,838		
合計											5,437						
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考	
										H28	H29	H30	H31	H32			
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考	
										H28	H29	H30	H31	H32			
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				
その他関連する事業																	
事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考	
										H28	H29	H30	H31	H32			
合計																	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・（都）十日町双葉町線ほか2路線及び（都）東原村木沢線ほか1路線の全面開通により、路線の歩道整備が完了し、通学路の安全性が向上した。			
--------------------------------	--------------------------------------------------------------------	--	--	--

II 定量的指標の達成状況	指標①	最終目標値	90%	目標値と実績値 に差が出た要因	H29より山形県社会資本総合整備計画「都市における通学路の安全を確保し子供達が安心してとおれる都市空間整備（防災・安全）」に移行したことにより、事業実施期間が短縮されて整備延長が短くなったため。
		最終実績値	88%		
	指標②	最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			

3. 特記事項（今後の方針等）

山形県社会資本総合整備計画「都市における通学路の安全を確保し子供達が安心してとおれる都市空間整備（防災・安全）」において、事業を継続して行い指定通学路の歩道整備率を更に向上させる。

(参考図面)

